

# 東永谷中だより

横浜市立東永谷中学校

令和3年11月号

## 「何事にも一生懸命」

校長 青木 照美

10月29日(金)に東中祭が開催されました。本来であれば合唱コンクールを行う予定でしたが、練習期間や様々な理由で中止の判断をしました。その合唱の代わりとして、クラス全員で力を合わせてステンドグラスを制作することになり、文化の部として、全学年が一齐に体育館に集まることはまだ心配なので、学年ごとにステージ発表を観ることに致しました。短い期間での練習でしたが、平和スピーチ、英語スピーチコンテストに参加した生徒のみなさんの発表、ダンス発表、コーラス部、吹奏楽部、生徒会本部の劇とそれぞれ3回発表することになりましたが、どれも素晴らしいものでした。そして、実行委員のみなさんは、毎日、昼休み、放課後と準備に奔走していました。ステージ上のスローガンや立て看板も本当にきれいな仕上がりで、よくこの短い期間にこれだけのものができたな、と感心しました。また、ステージの司会や照明、音響とそれぞれの役割も見事にこなしていました。また、見ている生徒のみなさんも手拍子で盛り上げ、3年生の時には、吹奏楽部にアンコールの声が沸き起りました。生徒会の『コロナ禍で過ごす時に気を付けてほしいこと』のメッセージ劇では、先生方が出演し、笑いをさそって大いに盛り上がり、大成功でした。短い時間でしたが、この楽しいひと時を過ごせ、スローガンにある『彩 ～一人ひとりが作り上げる最幸の東中祭～』の通り、幸せな時間を過ごさせていただきました。何事にも一生懸命なみなさんは、自慢の生徒達です。保護者のみなさまにおかれましても、お忙しい中、ご来場いただきありがとうございました。また、PTA役員、各委員会のみなさま、受付、消毒、片付け等と大変にお世話になりました。本当に、ありがとうございました。

さて、先日、衆議院議員選挙が行われました。考えてみると、3年生のみなさんは、あと3年で選挙権が与えられます。そこで、3年社会科担当の佐藤哲哉先生がとても面白い授業をしていたので、紹介します。それは、「選挙制度」についての授業です。小選挙区制、大選挙区制、比例代表制の仕組みを学習し、それぞれのメリット、デメリット、特徴を考えてまとめます。その内容をしっかり学習することは大切なのですが、佐藤先生の授業は、それだけで終わらず、実際に投票をしてみる授業でした。その内容は、架空の4つの政見放送を見て、自分の考えや意見をまとめ、本物と同じ形式の投票用紙に自分の支持する政党名を書いて、投票する、というものです。その政党は、『日本若葉の会 代表 荒木恵子議員』(与党)、『マッスル党 代表 猪狩樹議員』(野党最大勢力の政党)、『勤勉党 代表 手塚直宏議員』(野党の中では、毎年安定した支持をもつ)、『フレッシュ党 代表 田巻政人議員』(今回初めての選挙に挑む新政党)という設定です。議員は、それぞれ先生方なのですが、事前に録画したそれぞれの議員の政見放送を授業でしっかり見ます。その政策は、もちろん、それぞれ異なります。その政策を聞いて自分の意見をまとめ、投票開票し、クラスの1位になった政党を決めます。クラスによって1位になる政党が違うのは、とても興味深かったです。先生がたの政見放送も本物さながらでとても面白いものでした。この授業を見学させてもらい、生徒が興味関心をもちながら、主体的に取り組むことのできる素晴らしい授業だと思うとともに、『あと3年後に投票するのだ』という意識をもつことのできる学習であると思つづく思いました。

選挙権は、とても大切な権利です。今回の投票率は、前回よりは少し上がったものの 55% 台です。選挙に行くということは、大人としての責任であると思っています。東中生のみなさんは、18 歳になったら、必ず選挙に行く人であってほしい。1 票で何も変わらないと思うのではなく、私たちの生活を大事にするために、自分で考え、判断し行動できる、そして、中学時代がそうであったように、何事にも一生懸命に取り組むことのできる大人になってほしいと思っています。